

代表者名	代表理事 一力 雅彦	所管部課	産業部商工観光課
所在地	渡波字大森30-1	設立年月日	平成4年1月11日

1 設立目的・経過

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与すること

2 出資・出捐状況 (単位:円)

区分	出資・出捐金額	比率
石巻市	500,000,000	50.00%
他自治体	500,000,000	50.00%
その他	0	0.00%
計	1,000,000,000	100.00%

3 経営状況

(単位:円)

損益計算書(P/L)				貸借対照表(B/S)		
売上高又は当期収入額合計	経常利益(損失)又は当期正味財産増加(減少)額	当期利益(損失)	減価償却費	総資本/資産合計	他人資本/負債合計	自己資本/資本合計
263,429,524	10,430,909	10,343,046	2,687,579	1,098,914,039	25,310,937	1,073,603,102

4 財政支出

(単位:円)

調査対象法人への財政的支援					委託事業	
補助金交付額	貸付金残高	損失補償限度額	損失補償契約に係る債務残高	債務保証契約に係る債務残高	事業内容	委託料(人件費含む)
0	0	0	0	0	サン・ファン・パウティスタパーク管理委託	41,727,618

5 組織

①役員数

常勤	0
うち市OB	0
うち市職員	0
非常勤	25
うち市OB	0
うち市職員	0
計	25
うち市関係者	0

②職員数

常勤	9
うち市OB	0
うち市職員	2
非常勤	13
うち市OB	0
うち市職員	0
計	22
うち市関係者	2

※正職員

平均年齢

40.7歳

平均勤続年数

2年8月

6 評価指標/評価一覧

指標	計算式	数値	過去3年平均伸び率等	評価	
健全性	①自己資本比率	自己資本/総資本 ※土地開発公社除く	97.7%	—	良好
	②流動比率	流動資産/流動負債	279.8%	—	良好
	③補助金比率	補助金/売上高(経常収益)	—	—	—
	④累積欠損金	自己資本-資本金 ※マイナスの場合	—	—	—
目的適合性	⑤収益事業比率	収益事業の事業費/全事業費 ※公益認定を受けた法人のみ	1.1%	50%未満	良好
収益性採算性	⑥経常利益	経常利益(損失)又は一般正味財産増減の部の当期経常増減額	10,430,909	3年連続黒字	良好
	⑦売上高伸び率	売上高(経常収益)の対前年比	84.2%	97.3%	標準
効率性	⑧管理費比率	管理費/経常費用 ※一般社団法人又は一般財団法人のみ	30.1%	77.9%	概ね良好
	⑨人件費比率	人件費/売上高(経常収益)	28.9%	100.7%	標準

7 事業実績及び効果

石巻広域圏の観光拠点としての機能と博物館としての性格を最大限に利用し、青少年の学習活動並びに生涯学習の場としての機能を最大限に生かしながら、慶長遣欧使節等の歴史的事績及び海事思想の普及啓蒙を目的とした各種イベント、文化・交流事業等を実施した。

1. 公益目的事業

(1) 企画事業

慶長遣欧使節等の歴史的事績・船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供した。

① 船舶文化事業

- ・「海につどい船に学び木の文化を知る」事業、船乗りたちの生活体験、夏休み特別企画「マスト登り体験」、船人シブ講座等
- ・親子ふれあいパーク・絵画コンクール・写真コンクール、ライトアップ・イルミネーションツリーファンタジーフェスタ2009等

② 企画展示事業

- ・体験講座「クイズで楽しく学ぼう!航海術」平成21年9月19日~23日
- ・特別展「支倉常長が辿った太陽の国」平成21年10月1日~12月21日

③ 関連事業

- ・第16回「サン・ファン祭り」(平成21年5月23日~5月24日)、サン・ファン感謝デー、イルミロマンスパーティー、サン・ファンパーク来園者300万人達成セレモニー等

(2) 慶長使節船ミュージアム管理運営事業

復元船の展示をメインに、船舶技術、帆船文化に関連する資料を展示し、慶長使節の偉業と帆船文化の学習の場を提供した。

(3) 復元船管理運営事業

復元船を貴重な県民の財産として維持管理するため、必要な補修及び法定検査を実施した。
・法定検査及び船体補修工事 平成21年5月25日~平成21年7月17日

(4) サン・ファン・パウティスタパーク管理運営事業

立体駐車場、サン・ファン広場、芝生広場等で構成されているパークは、ミュージアムの付帯施設として、来場者の憩いの場、イベント会場を提供している。

2. 収益事業

(1) グッズ等販売事業

サン・ファン関連グッズ(サン・ファンショップで販売)、夏季のサイダー(無人販売)、飲料品(自販機)の販売を行った。

3. 開館日数:312日 入館者数:63,577人(対前年比:100.2%) パーク入館者:194,310人

8 経営上の課題、問題点等

この施設は、サン・ファン・パウティスタの歴史を発信する博物館と、国内最大木造帆船の展示観光施設としての二面の役割を持っており、年間入館者による地元経済波及効果は年間約30億円(県観光課)とされており、財団の経営状況のみならず一定の成果を上げている状況にある。

今後は、施設維持管理費に多額の経費を必要としていることから、経常経費の縮減に尚一層努めるとともに、全国からの誘客について抜本的な対策を講じる必要があり、リピーター確保のためのさまざまな企画、魅力ある施設運営を図るべく、造船文化、木の文化の伝承などの生涯学習の場としての尚一層の活用についても検討が必要である。

9 総合評価

① 概ね安定している。 2. 経営課題の検討を要する。 3. 経営改善を要する。

4年連続で経常利益を計上するなど、経営内容は安定しているが、売上高(経常収益)は前年度を下回っていることから、魅力のある企画など、集客力の向上を図るための努力は今後とも必要である。